

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	×	
対象学科	1年生全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	135
授業概要、目的、 授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る インターンシップへの不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践行動学、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション（学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ）				
11～20	クラスインフォメーション（学年イベントについて知る・身だしなみ・インターンシップについての説明・実習着の採寸など）				
21～25	パソコンの設定・使い方指導		演習		
26～30	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流				
31～40	英語のレベルチェックテスト、クラスホームルーム				
41～50	クラスインフォメーション、インターンシップ面談				
51～54	海外研修旅行説明会				
55～60	インターンシップ前座談会				
61～65	インターンシップレポート、インターン先下調べ、大掃除				
66～70	インターンシップ振り返りレポート作成、後期時間割説明				
71～75	学年決起スポーツ大会の実施				
76～80	避難訓練、業界セミナー				
81～85	海外研修旅行説明会				
86～90	海外研修下調べ				
91～95	求職登録面接対策				
96～100	アンケート実施、履歴書用写真撮影、クレベリン実施、クラス交流、大掃除				
101～105	時間割説明、今後のスケジュールについて				
106～130	求職登録面接、就職対策				
131～135	学年交流、修了式、大掃除				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる			

科目名	就職対策				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え		テキスト P.6～		
3 4	就職活動の流れ		テキスト P.14～		
5～8	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.18～		
9 10	職業を知る 自己分析		テキスト P.27～		
11 12	インターンシップ企業研究 目標の書き方				
13～18	履歴書・エントリーシートの書き方				
19 20	インターンシップ企業振り返り 情報収集・企業研究				
21～26	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
27～34	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
35～45	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
46～55	就職研修 履歴書の写真撮影など				
56～62	面接指導				
63～75	首都圏就職研修				
76～80	研修振り返り・企業研究				
80～85	就職研修（1月）・求職登録面接				
86～90	就職研修（2月）・求職登録面接				
90～100	就職研修（3月）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	○	
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった			

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違っった思い込みと言いつ		個人作業・グループディスカッション		
3	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
4	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
5	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
6	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
7	パート2 マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
9	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
10	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう 留意する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	コミュニケーション				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 社会においてコミュニケーションの大切を知る 2. あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション初級検定取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウィネット コミュニケーション技法・コミュニケーション検定 公式ガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーション技法 ・行動をチェックする ・効果的な自己紹介の方法		講義 グループディスカッション		
2	コミュニケーション定義				
3	コミュニケーション技法 ・コミュニケーションの基本を身に付けよう		講義 グループディスカッション		
4	公式ガイドブック ・聞く力		講義 チェック問題を解答→解説		
5 6	公式ガイドブック ・話す力		講義 チェック問題を解答→解説		
7 8	公式ガイドブック ・来客応対 ・電話応対 ・アポイントメント 訪問 挨拶		講義 チェック問題を解答→解説		
9 10	公式ガイドブック ・接客営業 ・クレーム対応 会議 取材 ヒアリング ・面接		講義 チェック問題を解答→解説		
11	模擬問題練習		チェック問題を解答→解説		
12 13	過去問題 1		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
14 15	過去問題 2		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
16 17	過去問題 3		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
18	不得意箇所の克服		過去問 1・2・3 の苦手問題を再トライ		
19 20	過去問題 4		検定を想定して、マークシートにより問題を解く		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
過去問題テスト80%、 授業態度20%			全員の検定合格を目指すため、復習に力を入れること。また、わからない内容は友人同士で共有し、解決できるように図らう。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリティ				
担当教員	高橋香織		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ホスピタリティを理解し、実践し、伝えることができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	ホスピタリエ認定講座受講		パワーポイント		
11	身近な人に対するホスピタリティの実施		ディスカッション		
12	社会のホスピタリティを探る		ディスカッション		
13	目指す業界のホスピタリティを考える		ディスカッション		
14	ホスピタリティを広め方		ディスカッション		
15	発表		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ　ワード文書処理能力検定3級　合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ　WORD2019クイックマスター基本編　ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テキスト～36pまで		実習		
23	文書の編集		実習		
456	文書の印刷　文書の作成		実習		
789	表を使った文書の作成		実習		
101112	図形や画像を使った文書の作成		実習		
1314	検定対策　問題集　練習問題　1・2		実習		
1516	検定対策　問題集　練習問題　3　模擬問題1		実習		
1718	検定対策　問題集　模擬問題　2・3		実習		
1920	検定対策　問題集　模擬問題　4・5		実習		
2122	検定対策　問題集　模擬問題　6・7		実習		
2324	サンプル問題		実習		
25	ワード文書検定3級 受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70％　学習意欲10％　検定合格20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。				
学習目標 (到達目標)	パワーポイントの基本的操作を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パワーポイントの基本操作 プレゼンテーションの作成		実習		
2	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成		実習		
3 4	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク		実習		
5	スライドショーの実行 プレゼンテーションカスタマイズ		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			任意検定のパワーポイント検定初級を受検が可能である。モチベーションの高い学生とそうでない学生の温度差が出ないように配慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	実用英検対策(英会話)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 外国人と話すことになれる。英会話の楽しさをしり、表現を多く身につける。自己紹介ができ、各単元の表現ができる。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Interchange 5th(student book) リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	簡単な自己紹介フレーズを板書し、自分の自己紹介を英作文する。連語の発音方法や数字、電話やEメールの表現を学び、英作文できる。				
3～6	Unit 1 Where are you from? Introductions and greetings; names, countries, and nationalities の基本文法をピックアップし、一連の流れや表現方法を理解できる。				
7～10	Unit 2 What do you do? Jobs, workplaces, and school; daily schedules; clock time PROGRESS CHECK PAGES 14-15		単語テストあり		
11 12	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
13 14	総復習				
15 16	Unit3 How much are these? Shopping and prices; clothing and personal items; colors and materials				
17 18	Unit4 Do you play the guitar? Music, movies, and TV programs; entertainers; invitations and excuses; dates and times				
19～21	PROGRESS CHECK PAGES 28-29		単語テストあり		
22～24	Unit5 What an interesting family! Family members; typical familiesの表現に対する答え方を理解し、使い分けて表現できる。質問、答える側のどちらになっても使い分けができる。				
25～27	Unit6 How often do you run? Sports, itness activities, and exercise; routines				
28 29	PROGRESS CHECK PAGES 42-43		単語テストあり		
30 31	Unit 7We went dancing! Free-time and weekend activities				
32 33	Unit 8 How's the neighborhood? Stores and places in a city; neighborhoods; houses and apartments				
34 35	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全員準2級を取得しており、中学英語までは理解できている。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名		実用検定対策（準2級）				
担当教員		藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科		全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方		1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 （到達目標）		検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		英検問題集、プリント教材 リスニングCD				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
12	過去問題を用いて30分程度のレベルチェック（リスニング含む）を再度行い、解答する。			レベルチェックテスト		
3～12	準2級で多く出題される時制文法（未来形・完了形など）について英語表現の違いと意味を言え、書ける。発音できる。過去問題集からリスニングを10			単語テストあり		
13 14	過去問題からリスニング問題を1回分（30分）実施し、今までの学習内容が耳から理解できるか試す。解答する。			単語テストあり		
15	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。			期末テスト		
16～18	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークをし、ロールプレイで発音を確認する。					
19～30	準2級で出題される文法、構文を中心に学習する。リスニングCDの活用			確認テストあり		
30～34	過去問題集を集中して解く リスニングを集中して解く			単語テストあり		
35	振り返り・まとめ			本番の試験終了後にまるつけと2次対策		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				すでに英語検定3級に合格している、またはレベルチェックテストで3級合格相当の学力があると判定されている学生たちのクラスです。高校1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。アプリの活用をする。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	実用英検対策（3級）				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 （到達目標）	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	中学英文法を終了するドリル プリント教材 リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	レベルチェックテストの解説を行い、自分のレベルの把握ができる。簡単な自己紹介フレーズを板書し、自己紹介を英作文する。		テキスト発注する		
3～14	3級で多く出題される文法や構文の学習。リスニングCDの活用。 単語テスト		テキストの配布／確認テストあり		
15	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。		期末テスト		
16 17	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークををし、ロールプレイで発音を確認する。				
18～27	英検3級で良く出題される文法や構文を学習する。リスニングCDの活用。		確認テストあり		
28 29	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
30～34	リスニング・英作文対策 過去問題集の解答解説・見直し		単語テストあり		
35	振り返り・まとめ		本番の試験終了後にまるつけと2次対策		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			入学前の英語実力テストにおいて、3級合格レベルに達しなかった。英語に苦手意識をもっている。アプリケーションの活用を忘れない。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル、葬祭ディレクター	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	1、教科書、問題集を使い知識を深める 2、色を意識したコーディネート方法を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	パーソナルカラリスト検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パーソナルカラリスト検定3級公式テキストと、問題集、カラーカード				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	色と心理				
3.4	色のしくみ、眼、色の三属性		教科書P 26～28		
5.6	色相図、色調図		教科書P 31		
7.8	色相配色、色調配色		教科書P 32, 33		
9.10	色相図まめテスト、色相配色、色調配色、配色問題		教科書P 34～40		
11.12	色調図、配色まめテスト、アンダートーン配色		教科書P 48～56		
13.14	アンダートーン図まめテスト、配色問題、色の感情効果				
15.16	前期テスト				
17.18	前期復習、配色テクニック		教科書P 41～43、62～65		
19.20	パーソナルカラー		教科書P 75～95		
21.22	実践コーディネート		ドレス着用		
23.24	ファッションの歴史		教科書P 60、61、66、74		
25.26	過去問題①				
27.28	過去問題②				
29.30	過去問題③				
31.32	模試①				
33.34	模試②				
35	パーソナルカラリスト検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定90%、出欠席10%			検定合格も大切だが、実際に使える色あわせをできるようになりま		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・			しょう。		

D(59点以下)とする。

実務経験教員の経歴

ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅠ（実務）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	インターンシップ前に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標 （到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識）				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 料飲部門の概要		ホテルの料飲部門を知る		
2	第1章 料飲部門の概要		ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
3	第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ		
4	第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
5	第2章 什器・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
6	第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
7	第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースを概要を学ぶ		
8	第5章 朝食の基礎知識		朝食の料理内容やアメリカンブレックファーストやコンチネンタルブレックファースト等を学ぶ		
9	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法、中国料理の種類や作法を学ぶ		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅠ（演習）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	インターンシップ前に必要な知識を実践形式で身につける。 実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。				
学習目標 （到達目標）	お客様のお迎えからお見送りまでの一連のレストランサービスができるようになる。 インターンシップ前にサービスに対する不安を解消する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践		お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ちを実践し、お皿の重さを感じてみる。		
3、4	①プレートサービスと下げの方法の理解と実践 ②トレイ、グラス、ウォーターピッチャーの扱い方や運び方の理解と実践		2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う		
5、6	①サーバーの扱い方の理解と実践 ②ワインボトルの扱い方、サービスの実践		2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う		
7、8	①前回の復習、一連の流れ（パン、プレートサービス、下げ） ②一連の流れ練習（トレイでのグラスサービス、水サービス、ワインサービス）		2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う		
9、10	①②一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）		一連の流れを止めながら、確認していく		
11、12	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、水、パン、ワイン、プレートサービス、下げ、離席補助m、お見送り）		しっかりと一連の接客ができるように練習する		
13、14	実技テスト①		4名ずつ実技テストを行う		
15	実技テスト②		4名ずつ実技テストを行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			インターンシップの前に基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身に付けてください。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテル概論Ⅰ				
担当教員		渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方		1.ホテルや宿泊産業の概要、種類・形態とその組織、及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)		1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ガイダンス/ホテルの種類・組織・職種・ホテルで働く魅力			レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの成り立ち・歴史/ホテルの形態					
3	宿泊部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
4	料飲部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
5	宴会部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
6	ブライダル部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
7	セールス＆マーケティング部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
8	セールス＆マーケティング部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
9	管理部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
10	ホテルで働く資質・心構え/キャリアプラン					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率50％ 授業態度10％ レポート40％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後 に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	武田 奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	挙式に関する由来について理解		実務		
5～8	披露宴に関する理解		実務		
9.10	前期のまとめ		実務		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学んだことを積極的に人に伝える。 職業を意識しながら理解を深める。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フューネラルビジネス				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、社会に出たときに知っておくべき葬儀の一般的な参列マナーや社会常識を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	確認テストで60%以上正解する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	冠婚葬祭の言葉の意味を知る。クイズを通して葬儀業界を身近に感じてもらう。		パワポで説明。レジュメを配布。		
2	葬祭を取り巻く環境（死亡者数増加～遺族の要望の多様化）を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
3	葬儀の一般的な流れと最近の葬儀スタイルを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
4	葬祭業の職種を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
5	ケーススタディからオリジナルの葬儀プランを考える		パワポで説明。レジュメを配布。		
6	葬儀後の法要について学ぶ		パワポで説明。レジュメを配布。		
7	遺族の心理（グリーフ）の症状とそのケアを学ぶ		パワポで説明。レジュメを配布。		
8	香典の表書きの意味と内容を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
9	通夜・葬儀に参列するときのマナーを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			葬儀の業界用語は専門用語が多いため、かみくだいた表現で説明しなければならない。社会に出たときに知っておくべき一般常識の範囲を伝える。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテル・ブライダル・葬祭業界に必要なセンスアップを実習をととして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音が出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5 6	メイク練習		ヘアメイク実習		
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
9 10	歩き方：基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
11 12	ストレッチ 表情 ウォーキング 美しいお辞儀の仕方		実習		
13 14	ストレッチ 表情 ウォーキング 美しい座り方		実習		
15 16	話し方：発声・活舌トレーニング		テキスト38～42p 50～52p		
17 18	発声・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53～66p		
19 20	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67～68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80％ 学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年・国2年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者に向けて発表する				
学習目標 (到達目標)	進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	進級制作発表会の概要と心構え				
3 4	テーマ・タイトル決め				
5 6	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成				
7 8	スケジュール作成				
9～22	制作時間				
23～26	チームごとのリハーサル①				
27～34	チームごとのリハーサル②				
35～45	制作時間				
46～55	全体リハーサル				
56～60	最終リハーサル				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる			

科目名	葬儀概論Ⅰ				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、 授業の進め方	1、葬祭業界を取り巻く社会環境を学ぶ。 2、テキストを使い、葬儀の歴史や一般的な知識、お墓について学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	確認テストで60点以上とる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション（授業の目的を知る）		自己紹介		
3 4	「〇〇葬」の種類を調査する		レジュメ作成		
5 6	孤独死の現状を知る		レジュメ作成		
7 8	葬儀社社員より「業界が求める人」を学ぶ		非常勤講師より講義をいただく		
9 10	新潟県と県外の風習を知る		レジュメ作成		
11 12	関連企業について知る		レジュメ作成		
13 14	業界の職種について知る		レジュメ作成		
15 16	業界で働くということを知る		業界スタッフと座談会		
17 18	葬儀の歴史を知る（仏教、火葬、お墓）		レジュメ作成		
19 20	葬儀の風習を知る（香典、戒名、北枕）		レジュメ作成		
21 22	葬儀の風習を知る（神棚封じ、精進落とし）		レジュメ作成		
23 24	葬儀の風習を知る（枕飾り、納棺の作法）		レジュメ作成		
25 26	葬儀の風習を知る（仏教以外・神道、キリスト教）		レジュメ作成		
27 28	お墓について（墓地、墓石、墓参り）		レジュメ作成		
29 30	お墓について（散骨、樹木葬）		レジュメ作成		
31 32	葬儀の参列マナー（服装、持ち物）		レジュメ作成		
33 34	葬儀の参列マナー（お葬式の作法）		レジュメ作成		
35 36	葬儀の環境を知る グリーフケアについて		レジュメ作成		
37 38	葬儀の環境を知る 終活について		レジュメ作成		
39 40	葬儀の環境を知る コロナウイルス感染防止について		レジュメ作成		
41 42	葬儀の環境を知る 宗教・法規について		レジュメ作成		

43 44	お墓の多様化について学ぶ	レジュメ作成
45	確認テスト	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語が多いため、パソコンで調べながら学習すること。学んだことをアウトプットするために、検定の過去問題や確認テストに取り組み、知識の定着を図ること。
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。	

科目名	葬儀実務				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無		
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1、葬祭業務について座学と実習で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂 葬儀概論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション（授業の目的を知る） 葬儀の業務に携わるうえで大切なこと				
3 4	葬儀の流れを知る 臨終～遺体の搬送		テキスト		
5 6	葬儀の流れを知る 遺体安置～枕経		テキスト		
7 8	葬儀の流れを知る 火葬場予約		テキスト		
9 10	葬儀の流れを知る 通夜・葬儀の打ち合わせ		テキスト		
11 12	葬儀の流れを知る 設営・飾り付け		テキスト		
13 14	葬儀の流れを知る 納棺の仕方		テキスト		
15 16	葬儀の流れを知る 飲食について		テキスト		
17 18	葬儀の流れを知る 通夜式とは		テキスト		
19 20	葬儀の流れを知る 葬儀・告別式		テキスト		
21 22	葬儀の流れを知る 出棺～火葬・収骨		テキスト		
23 24	葬儀の流れを知る 法要・納骨		テキスト		
25	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
テスト80%、出欠席20%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					
			葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。		

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	手話				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無		
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、相手を理解しようとする「思いやりの気持ち」を育む 2、自分の表現力を磨く				
学習目標 (到達目標)	手話の表現方法を身につけ、コミュニケーション能力を上げる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂 葬儀概論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	自己紹介・指文字・数字を実践で学ぶ				
3 4	挨拶・建物の名称を実践で学ぶ				
5 6	家族の言い方・乗り物の言い方を実践で学ぶ				
7 8	食べ物・飲み物の言い方を実践で学ぶ				
9 10	日常会話「天気」「趣味」を実践で学ぶ				
11 12	日常会話「遊び」「学校」を実践で学ぶ				
13 14	日常会話「家族」「災害」を実践で学ぶ				
15 16	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度30%、テスト50%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			多様性を理解し、社会に出たときに様々な人とコミュニケーションをとれる人材になるために取り組む。葬儀業界にいと様々なお客様がいることを事前に理解しておくことが必要。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

科目名	職業研究				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年・国際2年	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	進級時のコース選択のオリエンテーション授業 進級後に受講するコースの授業を5コースから選択し受講する コース選択が明確な学生には目標をもって進級できるように、迷っている学生には授業内容を聞き明確になるように授業をする				
学習目標 (到達目標)	進級後のコース選択を明確にする。授業内容やイベントの話を聞き、やる気と目標をもって進級する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	コース別授業		レジュメ資料		
3 4	コース別の職業観の理解、求められる人物像				
5	コース別授業・質問受付・最終選択				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率60％ 授業態度40％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			進級時の選択コースで迷いのある学生も多く、決めつけた言い方や損得で話をしないように心がける。本当にやりたい選択ができるようにサポートする。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				